

# 手話で唄う歌声喫茶

おかげさまで2周年、ありがとうございます！

手話ができない方も  
楽しく参加できます



新宿ともしび

◆いつ 平成16年 2月22日(日)

13:00~ 16:00 (開場 12:30)

◆どこで NPO法人 愛隣舎・ホール

(日野市多摩平 3-5-21 042-586-9051 豊田駅北口徒歩12分)

「新宿ともしび」メンバーと手話で唄おう



ゲスト出演：五十嵐たかの(オカリナ)

第1部：歌声喫茶ヒット曲。

第2部：手話で唄おう。

第3部：歌声喫茶リクエスト曲。

◆さんかひ 1,500円 飲み物・お菓子つき

◆ていいん 60名(先着順につき予約可)

主催 レクプラス・福祉レクリエーション部会

日野生涯現役を進める会(日進会)

【お問合せ・申込み】大山精爾 TEL/FAX 042-581-7544 (レクプラス)  
吉野吾郎 TEL/FAX 042-582-3369 (日進会)

1950、60年代に人気の歌声喫茶が、今各地で静かなブームになっている。日野市では市民団体が歌声喫茶のさきがけといわれる新宿「ともしび」のバックアップを受けて、福祉施設で始めた「手話で唄う歌声喫茶」がすっかり定着。多摩地区のネットワーク構想も浮かんでいる。

歌声喫茶の面白さを聴覚障害者らにもぜひ味わってもらおうというのが狙い。手話の歌声喫茶が受けている背景は。（記者 沢田 千秋）

日野市を活動範囲とする市民団体「レクプラス」＝吉野吾郎（62）幹事＝などが主催、6月29日、同市の福祉施設「愛隣舎」のホールで「手話で唄う歌声喫茶」を開く。5回目の開催で、毎回会場に入りきれないほどの盛況ぶりだ。

レクプラスは財団法人日本レクリエーション協会が認定するレクリエーションインストラクターの資格を持つ人たち約25人でつくる団体。「手話で唄う歌声喫茶」には、このメンバーが聴覚障害者に手話を使って歌詞を伝え、健常者も用意された手話の絵が付いた歌詞カードを見ながら一緒に歌う。

そもそも、この催しを初めに企画したのは吉野幹事。ボランティア活動などを行っていた定年退職前にレクリエーションインストラクターの資格を取得し、「この資格を福祉の場で生かせないか」と思案していた時、かつてボランティアとして参加した障害者のロックバンドコンサートを思い出した。

ボーカルはテンポの速いロックンロールを手話で激しく表現、聴覚障害の観客には風船を渡してスピーカーから出る音の振動を感じてもらった。「こんなふうに音楽を共有することができるんだ」。この時の感動がもとで、手話の歌声喫茶を思いついたという。

最初に同ホールで開催したのは昨年2月。ここ数年で中高年を中心にブームとなっている歌声喫茶に、障害者も参加できないかと開催したところ、予想を上回る好評。参加した障害者